平成 30 年度　第 1 回地域医療支援病院に関する委員会

開催日時	平成 30 年 7 月 12 日(木)　13 時 30 分から 14 時 10 分まで
開催場所	大垣市民病院 2 病棟 1 階　会議室
議　　題	前回開催時の課題に対する報告、定例報告及び紹介率向上への取組みについて
出席委員 (敬称略)	委員長　大垣市医師会長　山川 隆司 委員　大垣歯科医師会長　片野 雅文 委員　大垣歯科医師会副会長　荻下 雅仁 委員　大垣薬剤師会長　松本 正平 委員　大垣市女性連合会長　竹中 昌子 委員　弁護士　鈴木 一朗
公開区分	公開
傍 聴 人	なし
審議概要	**1. 委員長及び副委員長の選出について** 「地域医療支援病院に関する委員会設置要綱」の第 4 条第 1 項の規定に基づき、委員の互選によって、委員長には大垣市医師会長の山川 隆司氏、副会長には大垣歯科医師会長の片野 雅文氏が選出された。 **2. 報告事項** **(1)前回開催時の課題に対する報告** (前回開催時の課題)①市民病院でレスピレーターを渡した患者さんについて、その情報をかかりつけ医にいただきたい。②紹介状の返事を患者さんに手渡しした場合、患者さんが元のかかりつけ医に受診するまで返事が来ないままになってしまう。 (事務局)①呼吸器内科にその旨連絡した。②紹介状の返書に関しては郵送を原則とするよう院内通知したが、今後は全て郵送としていく。 **(2)定例報告事項** **1)よろず相談・地域連携課から、①紹介率・逆紹介率、②地域連携を介した診察・検査件数、③開放型病床利用状況、④救急統計、⑤地域の医療従事者に対する研修・講演会の開催状況、⑥地域連携クリニカルパス登録状況、⑦OMNet 利用状況について報告した。** ①紹介率……29 年 4 月～30 年 3 月:67.6% 30 年 4 月～5 月:68.2% 逆紹介率…29 年 4 月～30 年 3 月:123.5% 30 年 4 月～5 月:122.7% ②地域連携予約診察件数…29 年 4 月～30 年 3 月計:12,086 件 30 年 4 月～6 月計:3,220 件 地域連携予約検査件数…29 年 4 月～30 年 3 月計:1,301 件

	30 年 4 月～6 月計:315 件 ③開放型病床登録医数…30 年 6 月末:160 人(医科 131 人、歯科 29 人)、 利用率…29 年 4 月～30 年 3 月:19.8％　30 年 4 月～6 月:30.1％ ④救急受診患者数…29 年 4 月～30 年 3 月計:39,983 人(月平均 3,332 人) 30 年 4 月～5 月計:6,357 人(月平均 3,179 人) 救急車利用件数…29 年 4 月～30 年 3 月計:10,817 件(月平均 901 件) 30 年 4 月～5 月計:1,671 件(月平均 836 件) 救急入院患者数…29 年 4 月～30 年 3 月計:3,120 件(月平均 260 件) 30 年 4 月～5 月計:490 件(月平均 245 件) ⑤地域医療従事者に対する研修…29 年 4 月～30 年 3 月開催数:36 回、 院外受講者 840 人 30 年 4 月～6 月開催数:4 回、院外受講者 76 人 ＊病診連携カンファレンス、糖尿病コメディカル研修会、がん診療委員会、 在宅医療研修、学術・ホームページ委員会、大垣薬剤師会研修会　等 市民対象の講演会等…29 年 4 月～30 年 3 月開催数:10 回、院外受講者 299 人 30 年 4 月～6 月開催数:3 回、院外受講者 87 人 ＊市民公開講座、糖尿病公開講演会、成人気管支喘息教室 ⑥地域連携クリニカルパス登録状況…29 年 4 月～30 年 3 月登録総数 1,114 件 30 年 4 月～6 月登録総数 238 件 30 年 6 月末時点でのパス開始からの登録総数:7,713 件 ⑦OMNet 利用状況…30 年 6 月末時点の利用登録医療機関:95 機関 診療情報閲覧に同意した患者総数:17,937 人 **2)上記の報告について次のとおり質疑応答等が行われた。** (事務局)平成 28 年度の診療報酬改定で 5,400 円の特別初診料が付いたということで救急の患者が減少し、通常の外来患者の診察件数については、これまで 1 日平均で約 2,500 名だったのが、現在 2,100 名くらいに減少している。これは国の方策で、正しい方向に進んでいると理解していて、まだ当院の外来患者数は多い。急性期医療病院としては、できるだけ再診患者を減らして、新患或いは重い疾病の患者さんを中心に外来を診るというのが本来あるべき姿で、その方向に努力をしていかなければいけないと思っている。その反面、かかりつけ医の先生方が、当院から紹介した患者さんを診ていただいているが、やはり定期的な検査を当院で受けるように、ぜひ、ご指示していただきたい。そうすることで当院として、その患者さんに対する責任も果たせることになる。その辺で診療所の先生方と当院の役割分担が明確化される。日頃の投薬や診察はかかりつけ医の先生方にお任せをして、定期的な検査は当院でやるのがあるべき姿と思う。最近、検査の依頼件数が少し減っていて、今年になってまたちょっと増えているが、外来患者数の低下に対する反動としては検査が少し増えるのが良いと思うので、よろしくお願いしたい。

	(委員)我々の方もできるだけそのようにお願いしたい。クリニカルパスで定期的な画像診断等をお願いしているケースも多くなりつつある。ただし、検査の方は今は落ち着いているが、前は混んでいたこともあった。特に高い精度を要する検査は、市民病院でしかできないものがあるかと思う。 (事務局)高齢化してくると病気が 1 つや 2 つではなくなって、隠れ疾病が増えてくる。隠れ疾病を見逃さないためにもやっぱり定期的な検査は今後更に必要になると思う。 (委員)市民病院の 4 つの科を跨いで受診されている方がいて、たまにうちに来られる。市民病院とうちの診療所のどちらに来ていただいても良いが、死亡診断書を書くのはどちらという説明をよくしているので、かかりつけ医と超急性期の病院という住み分けについて、市民に対する啓発をしてはどうかと思う。医師会の方でも広報したい。 **(3)紹介率向上への取り組みについて** **1)よろず相談・地域連携課から、紹介率向上への取り組み状況について次のとおり報告した。** ① 平成 29 年度の患者さんからの電話予約実績は 737 件で、28 年度から 73 件、率で 11.0%の増加。地域別では大垣市の先生が 8 割を占めている。診療科別では歯科口腔外科が半数弱を占めており、皮膚科、小児科の順となっている。30 年度の患者さんからの電話予約実績は 6 月まで 219 件で、29 年度 6 月までと比べると、10%ほど増加している。診療科別としては歯科口腔外科が 42.3%、次に耳鼻咽喉科、皮膚科の順となっている。 ② かかりつけ医紹介センターの相談件数は、平成 27 年度の開設から 29 年度までの 3 年間で利用合計は 583 件。診療科別としては循環器内科が 39.1%、眼科が 24.5%となっている。30 年度の相談件数は 6 月までで 28 件の相談が有った。かかりつけ医紹介センター相談件数の 27 年度 28 年度の利用合計は 474 件。診療科別としては、循環器内科が 42.2%、眼科が 28.3%で、この 2 科で約 7 割を占めた。29 年度の相談件数は 4 月 5 月合わせて 19 件であった。 **2)委員から、上記の報告について次のとおり意見・質問があった。** (委員)かかりつけ医が紹介状を書いて自分で予約する場合の紹介予約申込は、どのくらいの期間有効か。 (事務局)まずは患者さんから電話予約が来るのを待っているが、1 週間以内に無ければ、こちらから患者さんに連絡をしている。 (委員長)市民病院からのそういう勧めも有るので、ほとんどの患者さんがかかっているだろうか。 (事務局)こちらから患者さんに連絡した場合、まだ会社のシフトが分からないなどと言われるが、その後毎週金曜日 1 週間ごとに全員確認をしている。当院に受診していただくか、キャンセルになれば紹介医に連絡している。

	(委員)電話予約の件数が意外と伸びない。他の地域ではたくさん有るが、大垣市はもうひとつ数が増えない。増えてきていることは増えてきているが。 (事務局)年間 10 パーセントずつくらい増えてきている。歯科や皮膚科など、命に直接関係することが少ないところしか広がっていない。
次回開催	平成 30 年度第 3 回は平成 30 年 10 月 3 日に開催予定とする。